

# 静岡県旋網漁業地域プロジェクト もうかる漁業創設支援事業実証結果報告

【事業実施者：戸田漁業協同組合】

実証期間：平成23年1月5日～平成25年1月4日

静岡県の大中型まき網漁業において、既存船団（6隻、63名体制）から探索船及び運搬船を削減し、代わりに探索船兼運搬船を導入し、1船団5隻57名体制に移行することにより、人件費、燃料費等生産コストの削減を図り、併せて市場機能拡充等流通加工面の改革を行い、低コスト・高効率生産体制を実現し、もって収益性を改善することをねらいとした実証事業を行った。

## 実証項目

### 【生産に関する事項】

①操業形態の合理化

②生産コスト削減

③労働環境の改善

### 【流通・販売に関する事項】

①漁獲物の高付加価値化



## 実証結果

### 【生産に関する事項】

①省エネ型船（船体、推進装置）の探索船兼運搬船を導入し、5隻57名体制でカツオ、マグロ、イワシ、サバを主対象として操業を行った。習熟が進んだ第2年度には水揚げ数量、水揚げ金額ともに改革計画の目標値を大幅に上回り、5隻57名体制の操業形態が所期のねらい通りの操業能力を有することを確認した。

②生産コストの削減に関して、(a)乗組員6名の削減が可能であることが確認できた。(b)燃油消費量に関しては、平成23年に発生した東日本大震災の影響により水揚げ港が限定されたこと、カツオ漁場が両年とも例年に比べ沖合に形成されたこと等による水揚げ港の遠隔化に起因し、改革計画の目標値を上回った。

③新たに導入した探索船兼運搬船は、労働居住環境の改善のための漁船設備基準を準用し、居住環境の改善を図るとともに油圧開閉魚倉口蓋を導入し、船上作業の労力軽減を図った。

### 【流通・販売に関する事項】

①ステンレス張り魚倉の導入とともに衛生管理を強化した結果、漁獲物の高品質化により両年とも平均魚価は目標値を上回った。地元の沼津魚市場では水揚げ環境の整備を行い、併せてマーケットモールの拡充を図った。根拠地の戸田漁協においても地産地消、魚食普及及び地域の活性化のため、実証船の水揚げ物を買入れ、朝市等で廉価販売した。

## 収益性の改善について

上記のとおり、本操業形態はほぼ所期のねらい通りの操業能力を発揮した。初年度の収支は、水揚げ金額が事業経費を若干下回ったが、2年度は水揚げ金額が事業経費を上回り、所期の目的を達成し2年で事業を終了した。

今後は、大中小型まき網漁業における改革型の一モデルとして、当該事業による成果の普及啓発を図っていく。